

愛知県立一宮聾学校(聴覚障害)

1 学校概要

設置部・設置学科	幼稚部・小学部・中学部・高等部(普通科)
特色ある取組	
<p>「聴こえない」「聴こえにくい」幼児児童生徒のための学校です。異年齢集団での学習や他部との合同学習や生活場面の中で、相手を思いやったり将来の自分の姿を思い描いたりして、共に育ち、高め合う実践を行っています。</p> <p>「友達とのつながり」「幼稚部から高等部までのつながり」「他の聾学校・交流校・地域社会とのつながり」「卒業生や企業とのつながり」などの「つながり」を通して輪が広がり社会とつながる子供たちを育てます。</p>	
地域とのつながり・地域での役割	
<p>尾張中央福祉会大和保育園、一宮市立大和西小学校、一宮市立大和中学校、愛知県立佐屋高等学校、愛知県立一宮西高等学校との学校間交流、小学部・中学部は、一人一人の居住地の学校で学ぶ居住地校交流を積極的に行い、交流及び共同学習を進めています。また部活動は、中学校体育連盟や高等学校体育連盟主催の大会にも参加をしています。</p>	
高等部卒業生の主な進路	
<p>&lt;進学&gt;大学・短期大学、聾学校専攻科    &lt;一般就労&gt;一般企業、特例子会社          &lt;福祉就労&gt;就労継続支援、就労移行支援、生活介護等</p>	
一言アピール	
<p>幼稚部から高等部まで幅広い仲間や教職員、保護者等で協力し、子供たちが「やりたいこと」の実現に向けて全力で応援する学校です。人との関わりの中で、心豊かな成長を促し、笑顔あふれる子供たちを増やします。</p> <p>子供たちが「行きたい学校」、保護者様が「行かせたい学校」、教職員が「働きやすい学校」を目指して、常によりよい学校づくりに精進します。</p>	

2 スクール・ポリシー

このような幼児児童生徒の育成を目指します	
<p>幼児児童生徒一人一人が障害に向き合い、自分の能力を最大限に生かし、社会の一員として活躍できる人材の育成を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人の教育的ニーズや特性に応じた教育を行います。</li> <li>○自分らしさや個性を伸ばし、心身の調和がとれた人間形成を図ります。</li> <li>○「生きる力」を育むことにより、自立と社会参加への基盤を培います。</li> </ul>	
<p>&lt;幼稚部&gt;</p> <p>自分のことは自分でやろうとする子          仲良く生き生き遊ぶ子          自分の気持ちを豊かに表現する子</p>	<p>&lt;小学部&gt;</p> <p>自分で考え、進んで学ぶ子          思いやりをもって元気に行動できる子          言葉できちんと伝え合える子</p>
<p>&lt;中学部&gt;</p> <p>自分から進んで学習する生徒          お互いに相手の気持ちを大切にできる生徒          決まりを守り、自ら考え、行動できる生徒</p>	<p>&lt;高等部&gt;</p> <p>目標に向かって、自ら学ぶ生徒          人とのかかわりを大切にする生徒          社会にたくましく働きかけていく生徒</p>

## このように学びます

小・中学校、高等学校に準ずる教育や個に応じた教育を行っています。また、幼稚部から高等部まで継続的なキャリア教育を通して、自分が思い描く将来を実現する力を付けるようにし、学びを進めています。

- 聴覚の活用や口話、読話、手話、筆談などの個に応じた手段の活用により、豊かな社会生活を目指してコミュニケーション力の向上を図ります。
- 一人一人の実態に合わせた学びを進めます。
- 自ら考えたり、言葉で伝え合ったりすることを大切にした学びを進めます。
- 体験的な学習場面を設け、思考力・判断力・想像力の向上を図ります。
- 主体的な学びや達成の実感を伴う経験を大切にした学びを進めます。
- ICT機器を活用した新しい学びのスタイルを通して、多様な社会に必要とされる情報活用能力や、情報モラルの育成を図ります。